

CUBEまたはIOS音声ゲートウェイでのビジーアウトダイヤルピアのトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[症状](#)

[回避策](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco IOS®のアップグレード後のCisco Unified Border Elements/音声ゲートウェイダイヤルピアのステータスbusyoutとコール障害の問題について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Unified Border Elements(CUBE)に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

このドキュメントでは、Cisco IOS®を16.12.6/17.3.5/17.6.1以降のバージョンにアップグレードした後の障害について説明します。

問題

Cisco IOSを16.12.6/17.3.5/17.6.1/17.7.1以降のバージョンにアップグレードした後、Cisco IOS音

声ゲートウェイまたはCUBEを介してコールが失敗します。

症状

CUBEがSIPコールを受信し、「session server-group」と「sip options-keepalive」が設定された発信ダイヤルピアと一致すると、「Cause Value」188が設定されたコール制御アプリケーションプログラミングインターフェイス(CCAPI)レイヤでコールが失敗します。

CUBEは、サーバグループの一部である宛先サーバに発信INVITEを送信しません。

着信INVITEに対してTRYINGと503 Service Unavailableが応答されます。

「show dial-peer voice summary」でダイヤルピアのステータスが「busyout」または「active KEEPALIVE」と表示される場合でも、同じ動作が見られます。

設定例/ダイヤルピアステータス/デバッグスニペット：

```
dial-peer voice 1000 voip
 destination-pattern ^1000$
 session protocol sipv2
 session transport tcp
 session server-group 1
 voice-class sip options-keepalive profile 1
 voice-class sip bind control source-interface GigabitEthernet0/0/1
 voice-class sip bind media source-interface GigabitEthernet0/0/1
 dtmf-relay rtp-nte sip-kpm1
 codec g711ulaw
 ip qos dscp cs3 signaling
 no vad
voice class server-group 1
 ipv4 10.106.117.11
 ipv4 10.106.117.6 preference 1
```

show dial-peer voice summary

AD						PRE	PASS	SESS-SER-GRP	OUT			
TAG	TYPE	MIN	OPER	PREFIX	DEST-PATTERN	FER	THRU	SESS-TARGET	STAT	PORT	KEEPALIVE	VR
3001	voip	up	up			0	syst					
1000	voip	up	up		^1000\$	0	syst	SESS-SVR-GRP: 1			busyout	NA

show dial-peer voice summary

AD						PRE	PASS	SESS-SER-GRP	OUT			
TAG	TYPE	MIN	OPER	PREFIX	DEST-PATTERN	FER	THRU	SESS-TARGET	STAT	PORT	KEEPALIVE	VR
3001	voip	up	up			0	syst					
1000	voip	up	up		^1000\$	0	syst	SESS-SVR-GRP: 1			active	NA

Debug snippet:

007592: Apr 7 07:28:56.046: //-1/xxxxxxxxxxxx/SIP/Msg/ccsipDisplayMsg:

Received:

INVITE sip:1000@10.106.117.5:5060 SIP/2.0

Via: SIP/2.0/UDP 10.106.117.2:5060;branch=z9hG4bK51889

Remote-Party-ID:

;party=calling;screen=no;privacy=off From:

;tag=12EE76F8-154A To:

Date: Wed, 06 Apr 2022 18:28:16 GMT Call-ID: 28E9846D-B50E11EC-8025D5B1-C2D1F237@10.106.117.2 S

Expires: 180 Allow-Events: telephone-event Content-Type: application/sdp Content-Disposition:

;tag=12EE76F8-154A To:

;tag=1C2F76-17F5 Date: Wed, 06 Apr 2022 17:28:56 GMT Call-ID: 28E9846D-B50E11EC-8025D5B1-C2D

回避策

1. 'session server-group'ではなく'session target ipv4:'を使用して発信ダイヤルピアを構成してください。必要に応じて、サーバーグループのIPごとに個別のダイヤルピアを作成してください。

```
dial-peer voice 1000 voip
  session target ipv4:x.x.x.x
dial-peer voice 1001 voip
  session target ipv4:x.x.x.x
```

2. ダイヤルピアの「sip options-keepalive」を削除します。

```
dial-peer voice 1000 voip
  no voice-class sip options-keepalive profile 1
```

- 3.以前のバージョンにダウングレードします。この問題は、Cisco Bug ID [CSCvx92872](#)のコミット後に発生しました。

この問題は、Cisco Bug ID [CSCvz80171](#)に記載されています。修正プログラムは16.12.8/17.3.6/17.6.3/17.7.1/17.8.1から入手できます

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。